



アスンシオン通信

日付: 2024 年 4 月 29日 no.2

発行者: 田邊紘起

アスンシオンの交通事情

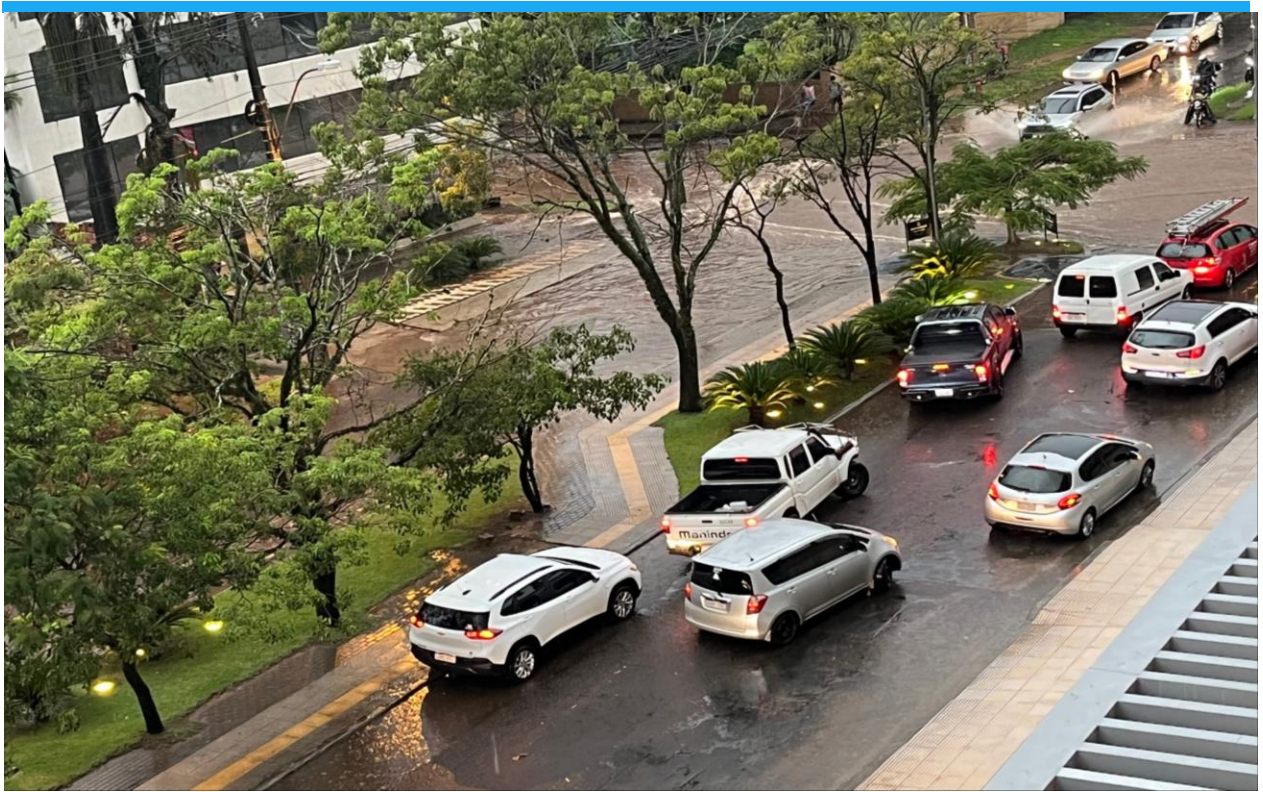
アスンシオンに到着し、日本人学校の先生方に学校の周りを車で案内していただきました。案内していただいた日はあいにくの雨で、アスンシオンの交通事情を思い知らされることになりました。日本では感じたことがないこちらの状況をお知らせします。

1.交通ルールや運転マナーが日本とちがう！

道路の信号はあっていないようなものです。現地のドライバーは「行けるときに行く！」という感じ。道路を右折左折するときはクラクションを鳴らしながら曲がります。だから交差点ではクラクションが鳴りっぱなしです。また、こちらは車優先で、歩行者を優先してくれることはほとんどありません。しかし、子どもには優しく、止まってくれるドライバーもいます。

2.道路の排水が悪く、雨で巨大な水たまりができる！

雨が降ると道路に水がたまってしまい、車や人が通りにくくなってしまいます。パラグアイでは、雨の日は外出しない人も多いとか。先日、バスが道路の深い水たまりで動かなくなり、ぶかぶか浮いてしまったという話を聞きました。また、幹線道路から一本うら道に入ると、舗装されていない石畳のガタガタ道になります。ぼこぼこ穴だらけで、運転するのが怖いので、乗るなら車高の高い車にしようと考えています。



3.ロマーナ

交差点や横断歩道の手前など、車が減速すべきところには道路上に「ロマーナ」と呼ばれる凸状の段差が作られています。ドライバーが一時停止のルールを守らないので、強制的に減速させる手立てといえます。歩行者は車が減速した隙をついて道路を渡ります。ちなみに、減速せず通過すると車が跳ね上がってとても危険です。



4.信号待ち中の物売り

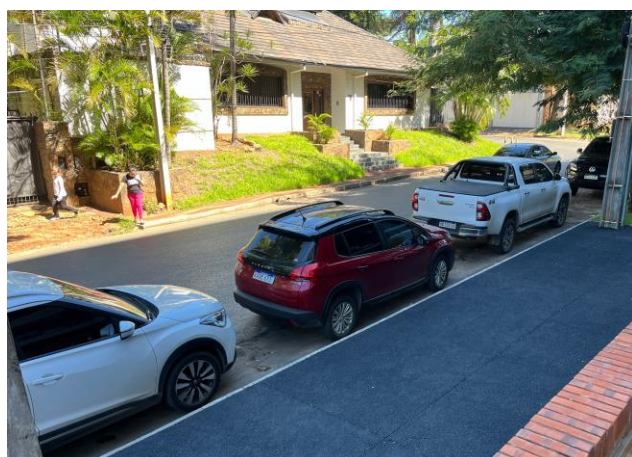
信号が青になるのを待っていると、果物やうちわを売る子ども、ワイパー交換や窓拭きをする子どもや大人等が、車の周りに集まってきます。パラグアイでは、家計を助けるため、路上で物売りをしている子どももたくさんいます。

一生懸命売り込んでくるので、断るのは心苦しいのですが、こちらではそれが普通の風景なので、日本から来た私たちも慣れなくてははいけないと思いました。



5.路上駐車だらけ

アスンシオン市内は「信号待ち？」と思うほど路上駐車が 많습니다。私たちが住んでいるマンションの前も、誰のかわからない車がずらりと並んでいます。駐車場がないのか、駐車違反の取り締まりがないのか、多くの道路でこのような状態をよく見ます。



6.ヘルメットをかぶらずにバイクに乗っている！

全ての人ではないですが、ヘルメットをかぶらずにバイクに乗っている人もいます。2人乗りでヘルメットもなく、スマホを片手に電話をしながら走行するバイクを見て怖いと思いました。

今回は、パラグアイに来てまず驚いたこの国の交通事情についてお伝えしました。日本では考えられないことがたくさんあります。そして、日本は決められた交通ルールやマナーをきちんと守っている人が多い国なんだなと改めて感じました。